

# カルチベーターを機能拡張 - 各種アタッチメント

草刈るチシリーズ、3本爪カルチベーターの機能を拡張する各種アタッチメントは、幅広い年式・型式に対応いたします。

## 《畦間の土塊をこっぴみじん》

### ■ ゴロクラッシャー

<適応年式・型式>  
S52以降の全型式



ヒョウタン刃や深耕爪に浮かされた大きな土塊を、こっぴみじんに砕きます。葉よけドロよけ側板付きなので、作物が小さいときは、ゴロクラッシャーに砕かれてはみでた土が作物にかぶるのを防ぎ、作物が大きいたときは、トラクターに踏まれた茎葉がゴロクラッシャーに巻き込まれるのを防ぎます。



<NAタイプ>

<NM・NJ・3本爪カルチ>

#### <NAタイプ>

- 装着方法  
スライドシャック形状で、チャックブラケット(後ろ側)のチャック部(後ろ)に固定
- 高さ調整  
ハンドルによる無段階調整(正確な目盛付き)

#### <NM・NJ・3本爪カルチ>

- 装着方法  
深耕チャック※に専用ブラケットを取り付けて装着  
※深耕チャック(極太)には装着できません
- 高さ調整  
ストッパーピンによる8段階調整

## 《狭い畦間でもしっかり砕土》

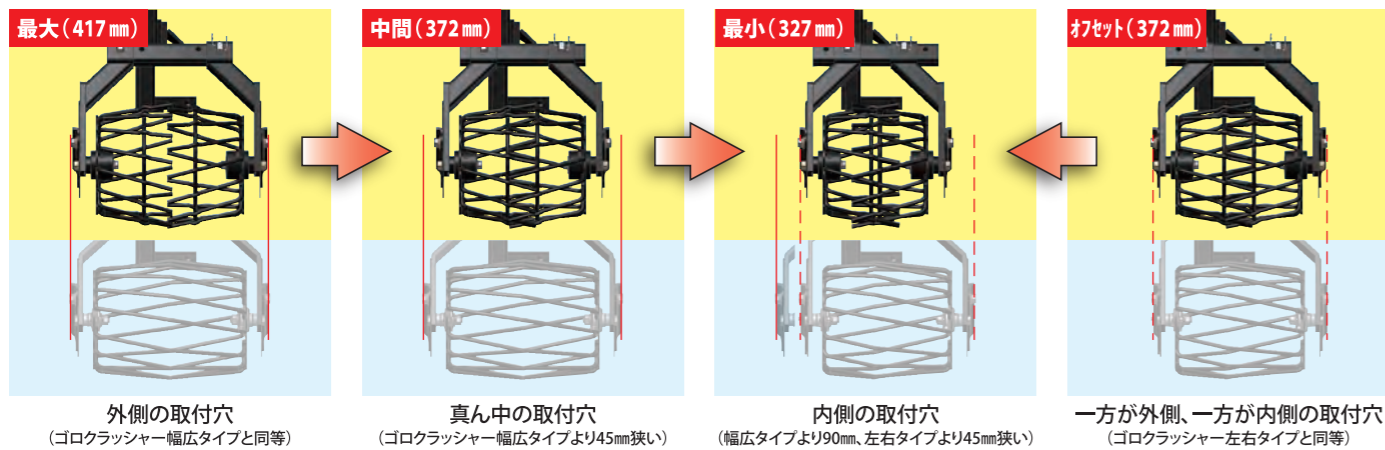
### ■ ゴロクラッシャーSV (特許)

Split & Variable

<適応年式・型式>  
S52以降の全型式



作用幅を変更できるゴロクラッシャーです。左右それぞれ3段階に取り付け位置を変更でき、ゴロクラッシャー幅広タイプと同等の作用幅を最大に、45mm狭い中間幅、90mm狭い最小幅のほか、ゴロクラッシャー左右タイプと同じオフセットなど、9通りの組み合わせができます。作物が成長して畦間が狭くなってもしっかりと砕土するので、長期に渡って使用できます。  
※装着・調整方法はゴロクラッシャーと同じです。



## 《幼少期の作物のカルチ作業が一変!》

### ■ ウイングディスク

<適応年式・型式>  
S52以降の全型式

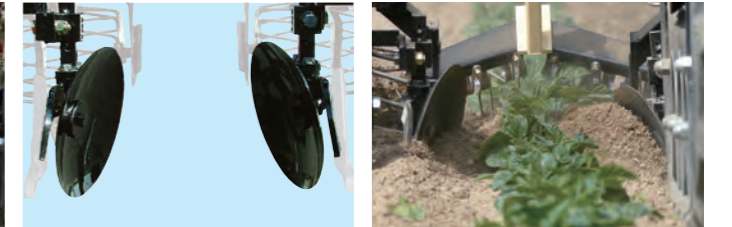
土を割るように作用するヤナギ刃などの縦爪タイプとは異なり、湾曲したディスクが土を切るように作用します。ですから、幼少期の作物に土をかけることなく、根際まで中耕することができます。しかも、『草刈るチ』で使用の場合、株間輪との相性がバツグンで、株間輪の駆動用の短い爪がウイングディスクで削った溝にはまることで、株間輪がスムーズに駆動します。また、左右のディスクを入れ替えると、作物の上からソフトに土をかぶせる土寄せができるようになるので、ばれいしょの萌芽期培土などでキレイな土寄せができます。

#### <土削り>



- 作物に土をかけないので、ビート、豆類の初期除草に最適です。
- 根際を動かさないので、土壌処理剤の効果を長く持続させます。
- 根際にカドを作るので、除草クリーナーの効果を高め、手取り除草の能率を大幅に高めます。

#### <土寄せ>



- 作物の上からソフトに土をかぶせるので、ばれいしょの萌芽期培土に最適です。

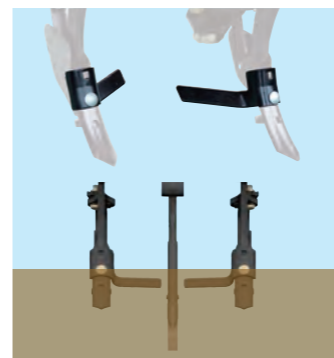
## 《畦間の中耕・除草効果がアップ》

### ■ やなブレード (特許)

<適応年式・型式>  
S52以降の全型式

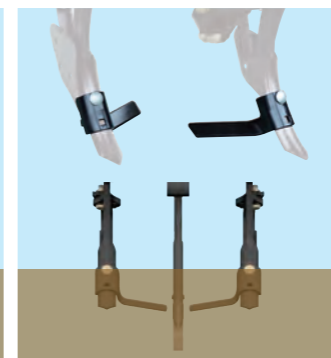
ヤナギ刃と一緒に取り付けると、畦間の中耕除草効果が上がります。

#### <取付位置 上側>



表層近くに作用するので、畦間の除草効果が上がります。

#### <取付位置 下側>



深い位置で作用するので、畦間をより広く膨軟にします。

## 《湿った土でも作業深さが安定》

### ■ タイヤスクレッパー (特許)

<適応年式・型式>  
S52以降の全型式

畑が湿っているときにカルチ作業を行うと、タイヤに湿った土がベッタリと付着し、タイヤの外径が変わって作業深さが安定しなくなりますが、付着した土を削り落とすので、作業深さが安定するようになります。  
※:草刈るチシリーズは標準装備



## 《畦間の中耕・除草効果がアップ》

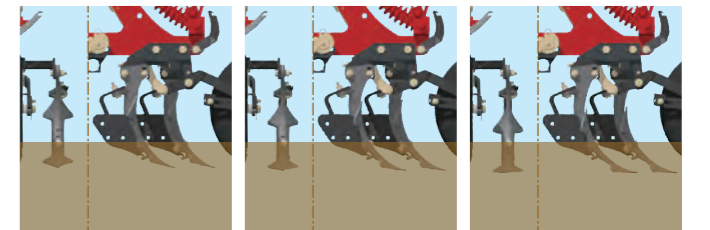
### ■ ヤナギ刃 (W95) (意匠)

<適応年式・型式>  
S52以降の全型式

標準のヤナギ刃より作用幅55mmが広く、取付位置も3段階あるので、幅広くお好みの深さで中耕除草を行えます。また、やなブレードとの併用※もできます。

※取付位置の組み合わせによっては、取り付けができない場合があります。

#### <取付位置 上側> <取付位置 真ん中> <取付位置 下側>



## 《場所を選ばず取付自在》

### ■ どこでもトレイ

<適応年式・型式>  
S52以降の全型式

カルチベーターだけでなく、マルチャーなど、角パイプのサイズにさええば、さまざまな機械に取り付けができる工具トレイです。向きや角度などお好みに取り付けることができ、工具などを機械と一緒に管理することができるようになります。



# 畦間の中耕・除草・培土のバリエーションを広げる6種類の爪※<sup>1</sup> - お好みの仕上がり※<sup>2</sup>となる爪をお選び下さい -

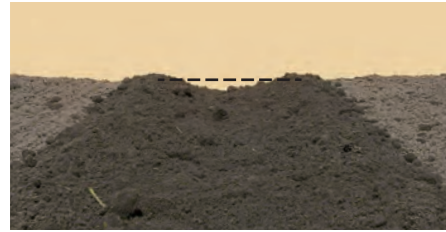
※<sup>1</sup>:ほかにもさまざまなアタッチメントがございます。 ※<sup>2</sup>:時速4kmで処理をした時の溝形状(点線は処理前)で、土質、圃場の水分状態、作業深さ、作業速度など諸条件により変化いたします。

## 《ひろく、浅く、美しく!!》

### ■ コンコル刃 (W155) (意匠)

<適応年式・型式>  
S 5 2以降の全型式

コンコルドより狭い約16cmの作用幅のため、より長期間、浅く、土をあまり移動させずに中耕除草ができます。なお、取り付け方は上下2通りあります。

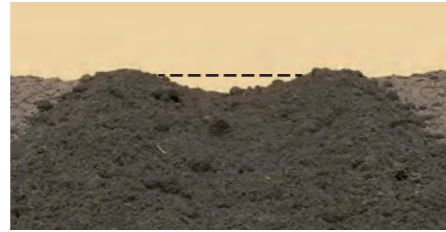


## 《ひろく、浅く、美しく!!》

### ■ コンコルド

<適応年式・型式>  
S 5 2以降の全型式

約27cmの作用幅で、浅く、土をあまり移動させずに中耕除草ができます。

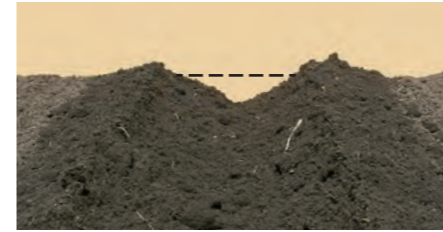


## 《狭く深い溝で収穫楽チン》

### ■ スコッ刃

<適応年式・型式>  
S 5 2以降の全型式

ヒョウタン刃とカスベ刃の中間的な約15cmの作用幅で、収穫時のガイド溝として役立つしっかりとした溝を形成します。作物にあまり土を寄せないので、豆類の仕上げ前の軽い土寄せにも最適です。

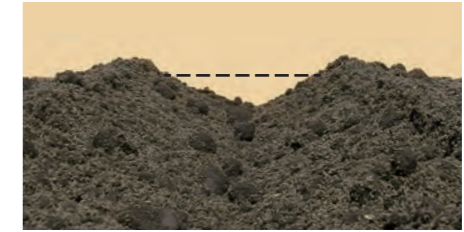


## 《軽い土寄せでキレイに仕上げ》

### ■ カスベ刃

<適応年式・型式>  
S 5 2以降の全型式

作用幅が約22cmで豆類・ビートの仕上げなど、極めて少ない土量の土寄せに最適です。



## 《カスベ刃じゃ物足りない、フレキシ培土器じゃあ大きすぎるとい方へ》

### ■ イーグル羽根 (EW-01) (特許)

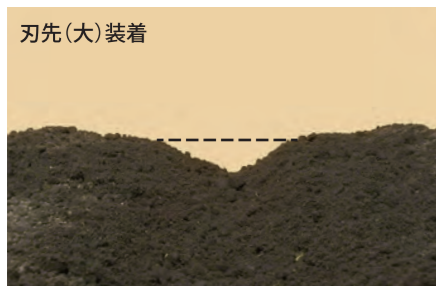
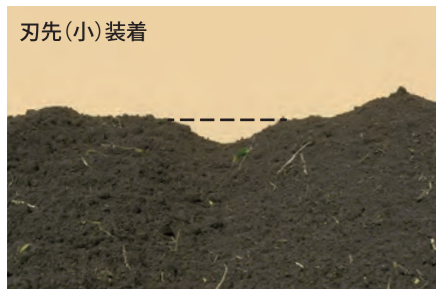
<適応年式・型式>  
S 5 2以降の全型式

ヒョウタンシャングに専用ボルトで取り付けただけで、カスベ刃のように畦間は浅く、フレキシ培土器のように根際にはしっかりと土を寄せることができます。なお、取り付け方は、上下2通りあります。そのうえ、両脇のゴム板も伸縮や上下反転、取付角度、高さなど自在です。さらに、刃先も大・小2種類\*あるので、バリエーション豊富にセッティングができます。

\* 刃先(大)が標準装備。刃先(小)が必要な場合は別途料金が発生いたします。



ゴム板は伸縮・角度・高さ・反転など自在です(一例)



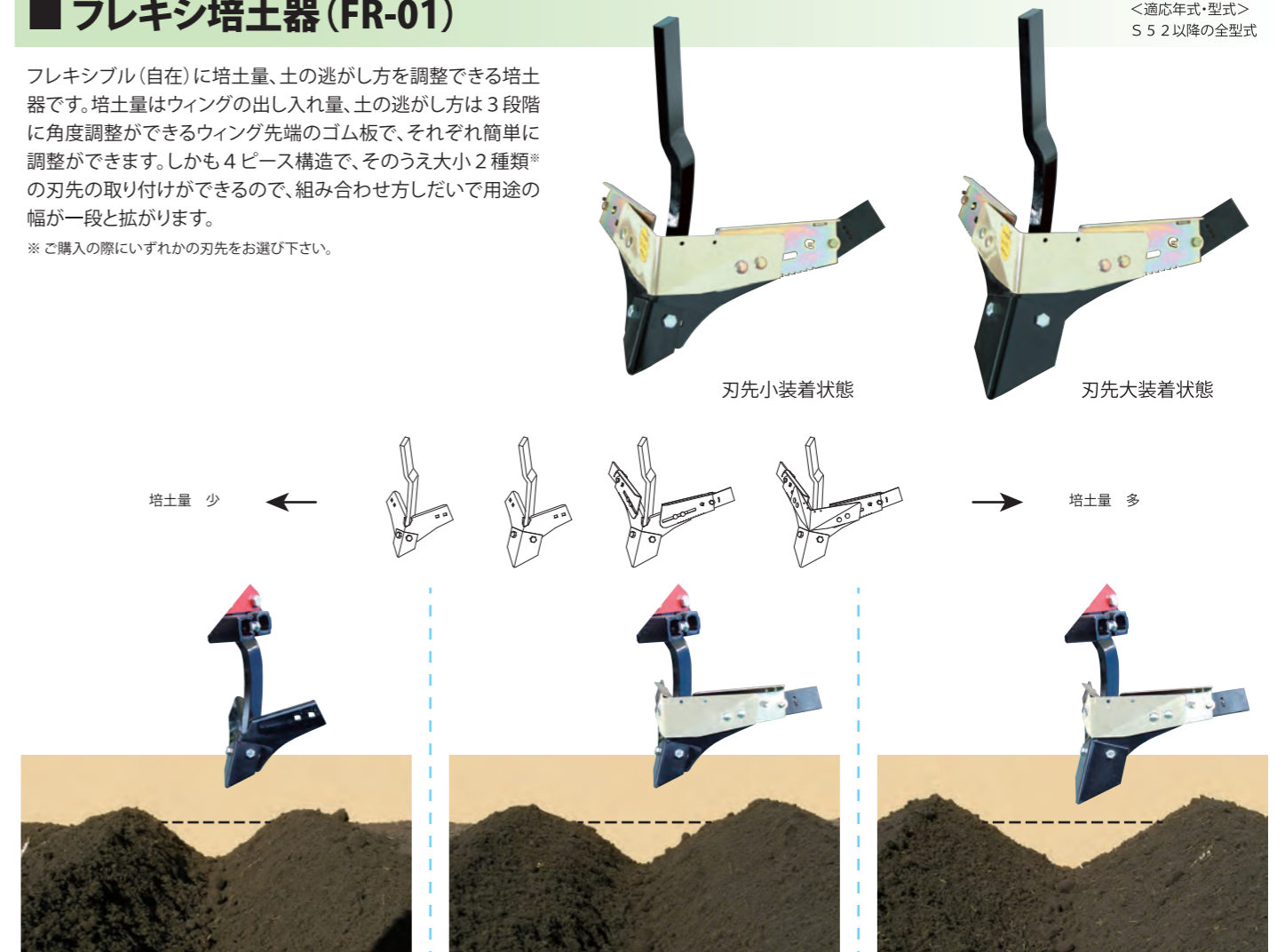
## 《お好みの土量、形状に仕上げる調整自在な培土器》

### ■ フレキシ培土器 (FR-01)

<適応年式・型式>  
S 5 2以降の全型式

フレキシブル(自在)に培土量、土の逃がし方を調整できる培土器です。培土量はウィングの出し入れ量、土の逃がし方は3段階に角度調整ができるウィング先端のゴム板で、それぞれ簡単に調整ができます。しかも4ピース構造で、そのうえ大小2種類\*の刃先の取り付けができるので、組み合わせ方しだいで用途の幅が一段と広がります。

\*ご購入の際にいずれかの刃先をお選び下さい。



《幅広い畦幅に対応…ベーシックばれいしょ培土器》

■ カマボコ培土器 (KR-725)

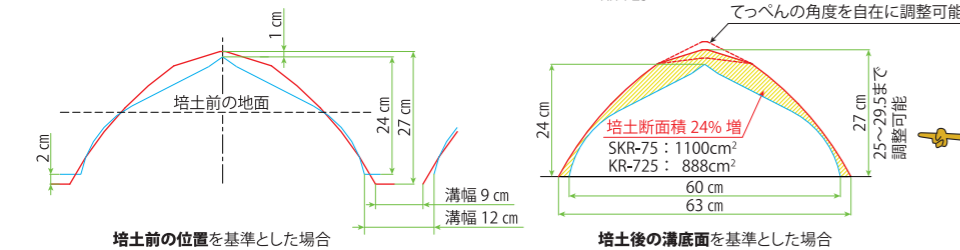
＜適応畦幅＞ 66～75cm  
 ＜適応カルチベーター＞ NC・NS・NM・NAシリーズ



カマボコ培土器 (KR-725) は、ニチノーの今までのカマボコ培土器シリーズ (KR-75, KR-72, KR-721) の良い所を凝縮した慣行時期培土器です。ばれいしょの生育範囲を大きく保つために山を高く、窒息しないように柔らかく、崩れないようにしっかりとしたカマボコ型をプラスチック製こすり鎮圧板できれいに形成します。しかも、ラバープレートが根際までしっかりとソフトに土を寄せるので、てっぺんには凹みができず、水が溜まることによる緑化イモの発生を防ぎます。そのうえ、適応畦幅が66～75cmと幅広く、培土後の溝幅も12cmと広いので、管理作業で畦間に入る必要が多い方に最適です。



KR-725とSKR-75を比較(畦幅72cmの場合)

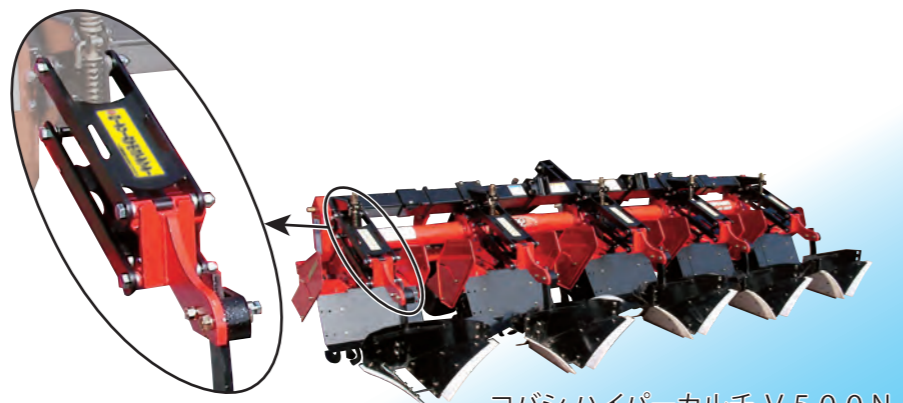


《カマボコ培土器とロータリーカルチがドッキング》

■ ロータリーカマボコアダプター

＜適応機種＞  
 コバシハイパーカルチ (V300(N)・V500(N))

コバシ製ロータリーカルチ「ハイパーカルチ」に専用のアダプターを取り付けるだけで、カマボコ培土器 (KR-725)・早慣カマボコ培土器 (SKR-75) が使用できるようになり、土塊の少ないロータリー培土ができるようになります。「ハイパーカルチ」がトラクターの踏圧による硬盤層など土壌をしっかりと細かく粉碎するので、土質や水分状態に左右されず、慣行時期培土、早期一発培土を低コストで行えます。しかも、培土器が砕きたての膨軟な土を高く、柔らかく、崩れない、最高の仕上がりの培土山に成形いたします。収穫のときにハーベスターのコンベヤに土塊が上がらないので、作業効率アップに大きく貢献いたします。



コバシ ハイパーカルチ V500N + 早慣カマボコ培土器 SKR-75

《早期、慣行、修復…時期を選ばずしっかり培土》

■ 早慣カマボコ培土器 (SKR-75) (特許)

＜適応畦幅＞ 72～75cm  
 ＜適応カルチベーター＞ NC・NS・NM・NAシリーズ

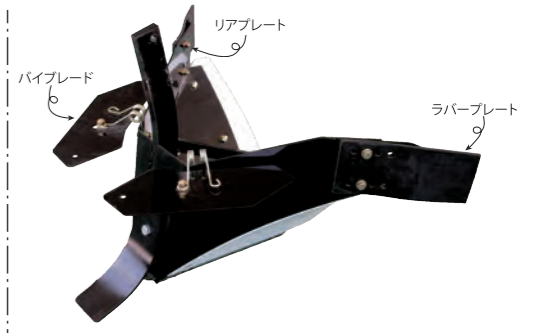


カマボコ培土器 (KR-725) よりも培土量が格段に多い (左ページをご覧ください) 早慣カマボコ培土器 (SKR-75) は、培土器両脇のアタッチメントを付け替えるだけで、着蕾期までに行う「慣行時期培土」、ロータリーカルチ\*を使用した「早期一発培土」、培土後の表面に発生してしまった地割れや崩れた山を修復する「修復培土」など、あらゆる時期や条件に応じて使用できる培土器です。ただし、適応畦幅が72cm以上のため、畦幅が72cm未満の場合はKR-725をご使用下さい。

\*:ロータリーカマボコアダプターが必要です。



早期プレートが頭のてっぺんまでキレイにこすりまわります。しかも、てっぺんの角度は7°～27°まで調整できます。



パイブレード\*が土量をしっかりと保ち、ゴム板 (角度調整不可能) で根際までしっかりと土を寄せます。  
 \*:ロータリーカルチで培土をする場合はエプロンがあるので不要です (取付不可)

◎ 培土器は、なぜカマボコ型がいいの？

ばれいしょ培土に定評の「カマボコ培土器」・「早慣カマボコ培土器」ですが、なぜカマボコ型の培土器がいいのでしょうか。

1. 培土容積が大きいのに崩れにくいので、ばれいしょの生育範囲にゆとりがあります。
2. 適応畦幅、適応時期が広く、お客さまのニーズに合わせて使用できます。
3. 「ニチノー」カルチベーターとの相性はバツグン!! 特に、「みらくる草刈るち (NAK)」と絶妙のコンビネーションで安定した培土を提供いたします。
4. コバシ「ハイパーカルチ」と専用アダプターを使用すれば、土塊の少ないロータリー培土もできます。

コバシハイパーカルチ V500N装着時

使用する時期に応じて作用幅 (フランジの枚数) を変えるとより効果的な培土が行えます。  
 <ご注意> ストロンを傷つけないためにも生育状況に合ったフランジ枚数で作業されることをお勧めいたします。またご使用の際は「ハイパーカルチ」の取扱説明書をお読みになってからご使用下さい。

